

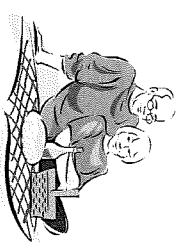


地 区 社 協 だ よ り  
ひ ら だ

どり

第39号

発行日 平成29年1月28日



発行所 平戸地区社会福祉協議会 会長 岩崎 幸雄

## 平成29年 年頭のごあいさつ

平戸地区社会福祉協議会  
平戸地区連合町内会



会長 岩崎 幸雄

あけまして おめでとございます。皆様が新たな年を迎えられたことに心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、平戸地区社会福祉協議会ならびに連合町内会の諸事業にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年は昨年策定した『第3期ハートプラン』を具体的に推進する年となります。

人と人のつながりがづくり、健康づくり、次世代の育成などにより『心のかよいあうまち平戸』を創ってまいります。あいさつをしたり、ごみを拾ったり一人ひとりの日頃の小さな心がけが、心のかよいあつた住み良い街なると考えております。

社会福祉協議会では、お年寄りから子どもまでが交流できる機会を設けております。

多くの皆様が参加され『顔みしり』を増やしていただき地域の絆を 広げて明るく笑顔が絶えない 地域社会の実現を目指してまいります。

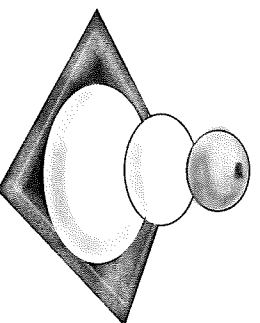
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 平成29年 新春の集い

毎年恒例の平戸地区『新春の集い』

が1月14日(土)午後6時より平戸町公民館にて開催されました。戸塚区選出の国会・県会・市会の各議員のみならず、区役所職員の平戸地区担当、戸塚区社会福祉協議会の方々を来賓としてお招きし、地区内各自治会町内会の役員のみならずが一同に会し総勢130名が参加され、すしずめ状態の会場で開催されました。

歓談が進んだころ平戸中学校PTAの音頭による恒例のビンゴゲームが開催され、賞品をゲットしようと盛り上がり、楽しいひと時を過ごしております。普段面識のない方々との会話も弾み、大きな地域交流の場となりました。



## 秋の大運動会



昨年に続き今年も雨天順延となり、平成28年10月10日(月・祭)に開催されました。

競技が進み各自治会の得点状況をみますと、昼林みの時点では、電電戸塚団地自治会が、大きくリードしており誰もが次の種目で総合優勝が決する思いでしたが、何と『ラグボールで遊ぼう』で最下位となり、順位は混とんとなりました。

各自治会対抗リレーに優勝した自治会が総合優勝を手にする事となり、非常に盛り上がりました。結局リレーで2位に入ったコスモ東戸塚グラウンド自治会が初の総合優勝を飾りました。

市長杯はラグボールで遊ぼうの種目で優勝した緑の街自治会が獲得しました。総合2位は同点となりましたが、規程により電電戸塚団地自治会が2位となり、惜しくも3位は平戸高層団地自治会となりました。勝負はゲタを履くまで分らないと痛感させられた大会になりました。

前日が雨天のため順延して開催した大会でありましたが、大テントの作成撤去、ライオン引き、多くの賞品調達、当日の用具運搬などお手伝い頂いた方々に感謝申し上げます。

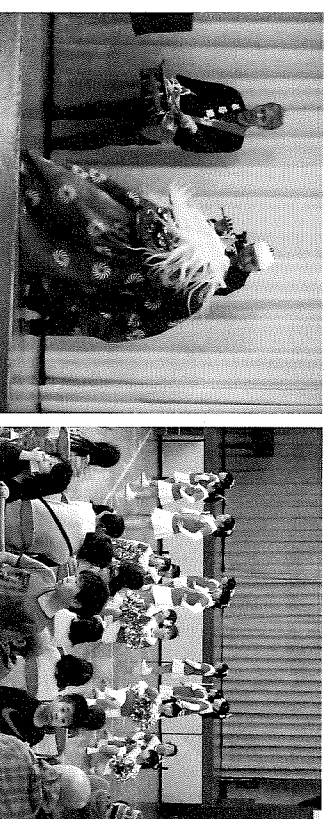
	得 点 種 目				合 計
	台風の日	綱 引 き	ラグボール	リレー	
コスモ戸塚グラウンド自治会	80	50	80	80	290
電電戸塚団地自治会	100	100	20	50	270
平戸高層団地自治会	20	100	50	100	270
緑の街自治会	40	50	100	60	250
芹が丘自治会	60	100	60	20	240
平戸台自治会	30	100	30	30	190
平戸町町内会	50	50	40	40	180
平戸住宅自治会	—	50	—	—	50

## ふれあいの集い & すみれ会

今年の『ふれあいの集い&すみれ会』は、平成28年11月6日(日)に平戸台小学校体育館にて開催されました。

スポンツ推進委員の指導により「紙飛行機」を高齢者と子ども達と一緒に作って飛ばしました。おにぎりトントンの昼食後の余興は平戸囃子連警会の獅子舞やコミュニケーションハウスのサークルの方々の踊りとピーチーズによるパトシ演技が披露されました。

保健活動推進員の皆さんが、血圧測定や脳年齢チェックなどのコーナーを設けて参加者は積極的に測定していました。



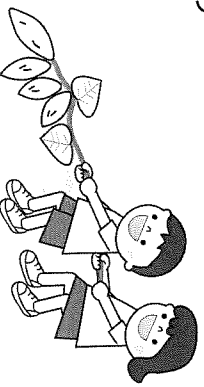
# みはらし公園 取 獲 祭

みはらし公園では、毎月清掃活動を行っており、主に国道から西側の町内会自治会及び学校から多くの方々に参加しています。毎年11月には、清掃に加え、花壇の花の植え替え並びにさつま芋の収穫と清掃後に参加者全員でいただくお食事が楽しいイベントとなっております。

今年は、11月20日(日)に開催されました。予定していた前日が雨天のため順延して開催しましたが、220名の参加者で広い公園も大賑わいでした。特に、園内で育てたさつま芋を約100名の小学生が掘り上げる時には大きな歓声が響り響いていました。掘り上げた芋はお土産として持って帰ります。後日「お母さんが天ぷらを揚げてくれて美味しかった」という声が小学校の先生の耳に入ったそうです。初めて参加したという人が「みんなが笑顔になっていて素晴らしいイベントね!」と話していました。

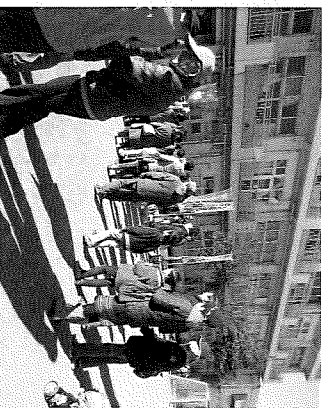
清掃後は平戸小学校の校庭に移動して、さつま汁やトシ汁とおにぎりをいただき、初冬の暖かい日差しを浴びて思い思いの場所でゆったりと談笑しながら味わっていました。

このご馳走は各団体の女性陣が朝早くから準備してくれました。道具の運搬、会場の設営・撤収、ゴミの分別・回収など40名の方々の協力により開催されました。スタッフのみなさんありがとうございました。



平成28年12月11日(日)平戸小学校で子どもから高齢者までの交流『餅つき大会』が開催されました。  
ノロウイルスが流行し各地区で餅つきが中止となる中、手洗いの励行マスク・ビニール手袋の使用など十分に注意をして実施しました。

前日の内にもち米をどぎ、一晩水に浸して準備しておきました。当日は水に浸したもち米をセイロに移してガスコンロで蒸かしました。そして練り機で練って臼に移して杵で軽く突いてお餅の出来上がりです。そのお餅を小さく千切ってアノコ・きな粉をつけてパックに入れて箸をつけて、やっと出来上がりです。前もって配布しておいた整理券の番号順にお餅を配り、340個のパックが配布されました。子ども達も杵を振るって順番に餅つきの体験をしておりました。  
前日の準備から当日のお餅づくり携わっていただきましたみなさま大変ありがとうございました。腹痛・嘔吐など何もななくやって良かったと思いました。



## 社協・連合同研修会

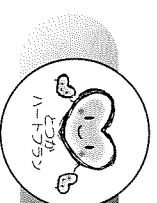
平成28年11月26日(土)

午後6時30分より平戸台コミュニティハウスにて、社協・連合町内会合同の研修会が開催され、62名が参加されました。

講師に戸塚区社会福祉協議会事務局長の仲丸等氏招いて、『生活支援体制整備事業と地域に求められること』について講演いただきました。

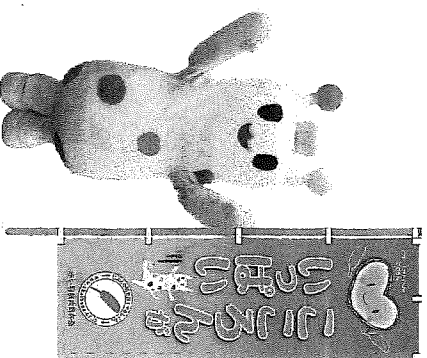
支援や介護が必要になってくると、この地域で暮らし続けることができるでしょうか? という問いについて、今地域で抱えている問題(一人暮らし・老夫婦世帯の増加、近所同士のつながりが希薄、地域のイベントは若い人が少ないなど)やどうしたら暮らし続けることができるのか、など講義されました。

当地区においても近未来の切実な問題であり、「ご近所や友人等とつながり、共に活動したり助け合いながら生活できる地域」にする必要があり、ハートプランを具体的に実践して行くことが重要となりますので、みなさんと推進しましょう。



## ご近所人通信

戸塚区役所では、第3期ハートプラン策定に伴い、各地区のハートプランを紹介しています。その2回目第3号(平成28年11月発行)に平戸地区が掲載されました。『心のかよいあうまち平戸』のタイトルを掲げ果樹の里をモチーフにしたデザインになっています。梨・ぶどう・みかんの中の挿絵と柿・栗を配置して地域を的確に表現していました。



今年から第3期ハートプランを実践することとなります。地域に住むみんなと一緒に取り組みましょう。

## 箱根駅伝 沿道応援のお礼



新春恒例の第93回箱根駅伝は青山学院大学が3連覇を達成して幕を閉じました。戸塚警察署管内の沿道警備は約12km(2・3区と8・9区)に及びますが、大きな事故もなく無事通過することができました。沿道で応援していただいたみなさんのご協力に感謝申し上げます。

(戸塚警察署、戸塚交通安全協会)

### 編集 後記

今号までB4サイズで作成してきましたが、次号から見やすいようにA3サイズに変更いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

(編集委員長 相澤辰信)